

2017.04.18.37会

阿蘇・北外輪のキスミレ、サクラソウ、ミチノクフクジュソウ

(二重峠 (ふたえのとうげ) 683m、ヒゴタイ公園、やまなみハイウェイ)



キスミレ (黄堇)
スマイレ科



サクラソウ (桜草)
サクラソウ科



ミチノクフクジュソウ (陸奥福寿草)
キンポウゲ科

7:57 道の駅・大津





8:51 二重峠（ふたえのとうげ）683m駐車場

参勤交代の道(豊後街道)

Road of Sankin-kotai * (Bungo Kaido)

참근교대의 길(분고카이도(豊後街道) 가도)

「参勤交代」之道(丰后街道)

「参勤交代」之道(豊後街道)

この道は藩政時代、肥後と豊後鶴崎を結ぶ重要な街道として利用されました。

豊臣秀吉が天下を統一し、加藤清正が肥後に入国すると、熊本から鶴崎までこの道を使い、鶴崎からは船で大阪を往復しました。

江戸時代になり、参勤交代制度が確立すると、細川藩も、江戸往復にこの街道を利用しました。

街道沿いには、熊本城の西大手門(新町一丁目)を起点として一里ごとの目印となる里数木が植えられ、休憩するところには御茶屋が設けられていました。

この道を谷内に下ると、今でも往時の石畳や御茶屋跡が残っています。

*official attendance service by feudal lords in the Edo period
Bungo Kaido was used as an important route that connected Higo and Tsurusaki, Bungo (Oita) during the domain administration period.

After Hideyoshi Toyotomi unified the whole country and Kiyomasa Katō entered Higo (Kumamoto) to rule the province, Kato used this road to and from Tsurusaki, where he took a ferry to and from Osaka.

During the Edo period (1603-1867), as the Sankin-kōtai system was established, the Hosokawa domain also started to use the road when they traveled back and forth between Edo (Tokyo).

Along the road trees were planted separated from one another by one ri (an old Japanese unit of distance, approx. 3.9 km or 2.4 miles), marking the distance from the starting point at the west main gate of Kumamoto Castle (current address is Shinmachi 1). Tea houses were set up at resting points as well.

The ancient stone paving and the remains of a teahouse can be seen along the valley down this road.

이 길은 한세시대 히고(肥後) 지역와 분고쓰루사키(豊後鶴崎) 지역를 잇는 중요한 가도로서 이용되었습니다. 도요토미 히데요(豊臣秀吉) 시가 천하를 통일하고, 가토 기요마사(加藤清正)가 히고로 입국해서 구마모토(熊本)에서 쓰루사키(鶴崎) 지역까지 이 길을 사용하고, 쓰루사키 지역에서는 배로 오사카(大阪)를 왕복하였습니다.

에도시대(江戸時代)가 되어 참근교대제도가 확립되자 호소카와한(細川藩)도 예도 왕복에 이 가도를 이용하였습니다.

가도를 따라서 구마모토조(熊本城) 성의 니시오테문(西大手門)(신마치 1초메(新町一丁目)) 지역을 기점으로 삼리마다 이정표가 되는 나무가 심어지고, 휴게하는 곳에는 찻집이 마련되었습니다.

이 길을 골짜기 안으로 내려가면 지금도 왕년의 돌길과 찻집 터가 남아 있습니다.

这条道路在藩政时代，被当作连接肥后与丰后鹤崎的重要街道加以利用。在丰臣秀吉统一天下，加藤清正进入肥后之后，由熊本到鹤崎都使用这条道路，由鹤崎可以搭船连接大阪。到了江户时代，「参勤交代」（出来做官替君主服务）制度确立之后，细川藩也将这条街道当作往返江户之用。

沿着这条街道，以熊本城的西大手门（新町一丁目）作为起点，每一里都种上里程树以作为记号，并在休息的地方设置了茶馆。

由这条道路来到谷内，则可以看到至今仍保留着的以往的铺石地或茶馆的遗迹。

這條道路在藩政時代，被當作連結肥後與豐後鶴崎的重要街道加以利用。在豐臣秀吉統一天下，加藤清正進入肥後之後，由熊本到鶴崎都使用這條道路，由鶴崎可以搭船往返大阪。到了江戶時代，「參勤交代」（出來做官替君主服務）制度確立之後，細川藩也將這條街道當作往返江戶之用。

沿著這條街道，以熊本城的西大手門（新町一丁目）作為起點，每一里都種上里程樹以作為記號，並在休息的地方設置了茶館。

由這條道路來到谷內，則可以看到至今仍保留著的以往的鋪石地或茶館的遺跡。



8:52



歴史の道

豊後街道 / 二重峠石畳

8:52



8:53



ウマノアシガタ (馬の脚形) キンボウゲ科
別名: キンボウゲ (金鳳花)



ウマノアシガタ (馬の脚形) キンボウゲ科
別名: キンボウゲ (金鳳花)



フキ（蓐） キク科



アケボノスミレ（曙堇）
スミレ科



ヒゴスミレ (肥後堇)
スミレ科



ヒゴスミレ (肥後堇)
スミレ科

A close-up photograph of two pansy-like flowers. The central flower is a vibrant purple with dark purple veins on its lower petal, and it is covered in small water droplets. To its right is a bright yellow flower with dark veins on its lower petal. The background is filled with green leaves, some of which have dark spots. The overall scene is outdoors, likely in a garden or field.

タチツボスミレ (立坪堇)
スミレ科

キスミレ (黄堇)
スミレ科



エイザンスミレ
(叡山堇)
スミレ科



バイカイカリソウ
(梅花碇草)
メギ科



ニョイスミレ（如意堇）スミレ科
別名；ツボスミレ（坪堇）



ジロボウエンゴサク
(次郎坊延胡索)
ケシ科



フウロケマン
(風露華曼)
ケシ科



スズメノヤリ (雀槍)
イグサ科



ヤマザクラ (山桜) バラ科



9:37 ヤマザクラ (山桜) バラ科

牛王の水

明和九年（一七七二）に編纂された國誌に小湧水の記録が見えます。

一説には、護法の水（コオウノミス）ともいいますが、当時上に乙護法の祠があったのでそう呼んだのでしよう。

乙護法とは、仏法守護の神で、童子の姿で行者につかえ、霊地を守ったので護法童子とも言われています。

旅人にとって、この水はかけがえのないものであり、この地を霊地として石仏をまつり、旅の安全を祈り、

乾いた喉を潤してしばし旅の疲れをいやしたことでしよう。

ここに祭られている石仏は舟形光背をもつ二軀の地蔵で、厨子には文政五年（一八二二）車帰村坂の下和七の名があり、和七の寄進と思われます。

石仏の施主は、紺屋町大坂屋才助同金屋文平次世話人大津松屋幸助二本木光平の文字かみえます。

大坂屋才助は、県内六ヶ所に石仏を寄進している篤信家で、文化文政の頃の人物といわれています。



10:50 二重峠（ふたえのとうげ）



ツクシシオガマ (筑紫塩釜)
ゴマノハグサ科



ツクシシオガマ (筑紫塩釜)
ゴマノハグサ科



ヒメウズ (姫烏頭)
キンポウゲ科



ヒトリシズカ (一人静)
センリョウ科



スマイレ (董) スミレ科



9:14 二重峠（ふたえのとうげ）



ミツバツチグリ（三葉土栗）
バラ科



クサイチゴ（草莓）バラ科
落葉小低木



ウマノアシガタ (馬の脚形) キンポウゲ科
別名：キンポウゲ (金鳳花)



11:00 ヒゴタイ公園キャンプ村駐車場



11:03



オキナグサ (翁草) キンポウゲ科



ウバユリ (姥百合) ムリ科



スズメノヤリ (雀槍) イグサ科



セントウソウ (仙洞草、洗湯草) セリ科



ジロボウエンゴサク (次郎坊延胡索) ケシ科


セントウソウ (仙洞草、洗湯草) セリ科



シロバナネコノメソウ（白花猫の目草）
ユキノシタ科



タイリンアオイ (大輪葵)
ウマノスズクサ科

The image shows two purple flowers of the species Fyritagabnosmiretsin growing in a forest floor. The flowers are small and have a distinct shape, with a dark center. They are surrounded by green leaves and brown, fallen leaves. The background is a dark, forest floor.

フイリナガバノスミレサイシン（斑入長葉の堇細辛）
スミレ科



11:20



エイザンスミレ (叡山堇) スミレ科



オオチャルメルソウ
(大哨唸草)
ユキノシタ科

オオチャルメルソウ (犬哨啖草)
ユキノシタ科

ネコノメソウ (猫の目草)
ユキノシタ科

シロバナネコノメソウ (白花猫の目草)
ユキノシタ科



ネコノメソウ (猫の目草)
ユキノシタ科



11:28



エイザンスミレ (叡山堇)
スミレ科

ハルトラノオ (春虎尾)
タデ科



ヤマネコノメソウ (山猫の目草)
ユキノシタ科



ハルトラノオ (春虎尾) タデ科



ヤマリソウ（山瑠璃草） ムラサキ科



11:38



エイザンスミレ (叡山堇)
スミレ科

セントウソウ
(仙洞草、洗湯草)
ユキノシタ科



ヤマネコノメソウ (山猫の目草) ユキノシタ科



11:40



タイリンアオイ (大輪葵) ウマノスズクサ科



ツクバネソウ（衝羽根草） ユリ科



エイザンスミレ (叡山堇)
スミレ科



キランソウ（金瘡草） シソ科



キスミレ (黄堇)
スミレ科



キスミレ (黄堇) スミレ科



キスミレ (黄堇) スミレ科



キスミレ (黄堇) スミレ科





カンスゲ (寒菅) カヤツリグサ科



11:57



テング巣病のサクラ



ソメイヨシノ (染井吉野) バラ科



ヒコタイ公園で思いかけず花見をする。

12:14



12:19

ハルリンドウ (春竜胆)
リンドウ科



ヒメオドリコソウ (姫踊子草)
シソ科



ヒメオドリコソウ (姫踊子草)
シソ科



12:47



●阿蘇五岳が一望できるお花畑



●遊歩道に沿った溪谷



●ルリモンハナバチ



●ノコギリクワガタ

ヒゴタイ公園は、平成元年3月の「くまもと・明日へのシナリオ」の中心事業である日本一づくり運動の提言を受け、活力・個性・潤いに満ちた豊かな郷土づくり（ヒゴタイの里）のひとつとして平成4年から、多目的保安林整備事業により整備された公園です。

※この案内板は、「熊本県水と緑の森づくり税」を使用して設置しています。

- : 高原の道
- : 森と溪谷の道
- - - : 溪谷



13:23



ツクシ (土筆)
スギナ (杉菜)
トクサ科



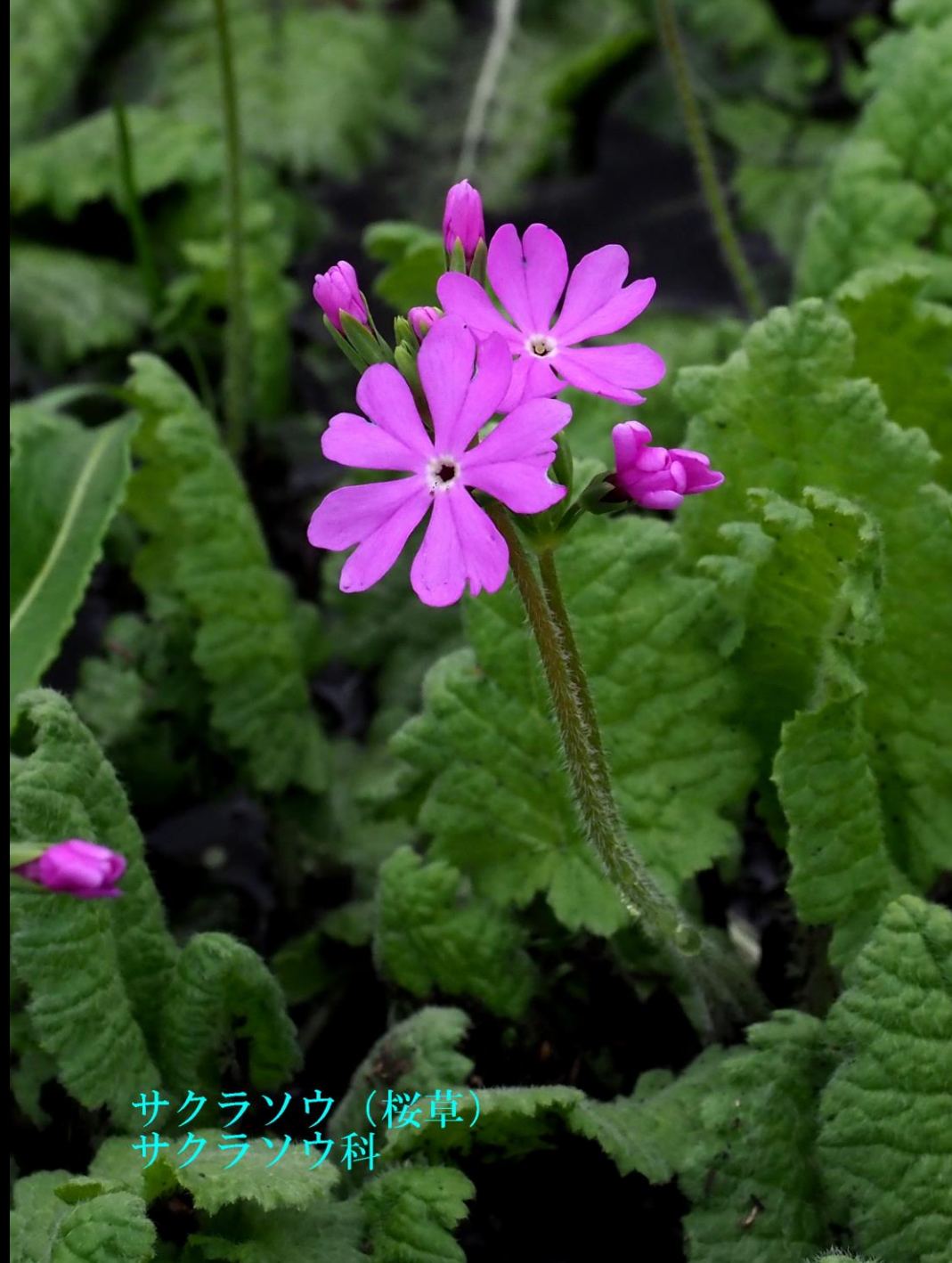
ワラビ (蕨)
コバノイシカグマ科



キジムシロ (雉薔) バラ科



サクラソウ (桜草)
サクラソウ科



サクラソウ (桜草)
サクラソウ科



サクラソウ (桜草)
サクラソウ科



サクラソウ (桜草)
サクラソウ科



アマナ (甘菜)
ユリ科



アマナ (甘菜)
ユリ科



ミチノクフクジュソウ
(陸奥福寿草)
キンポウゲ科



ミチノクフクジュソウ (陸奥福寿草)
キンポウゲ科



ミチノクフクジュソウ (陸奥福寿草)
キンポウゲ科



スミレ (堇)
スミレ科



スミレ (堇)
スミレ科



キスミレ (黄堇)
スミレ科



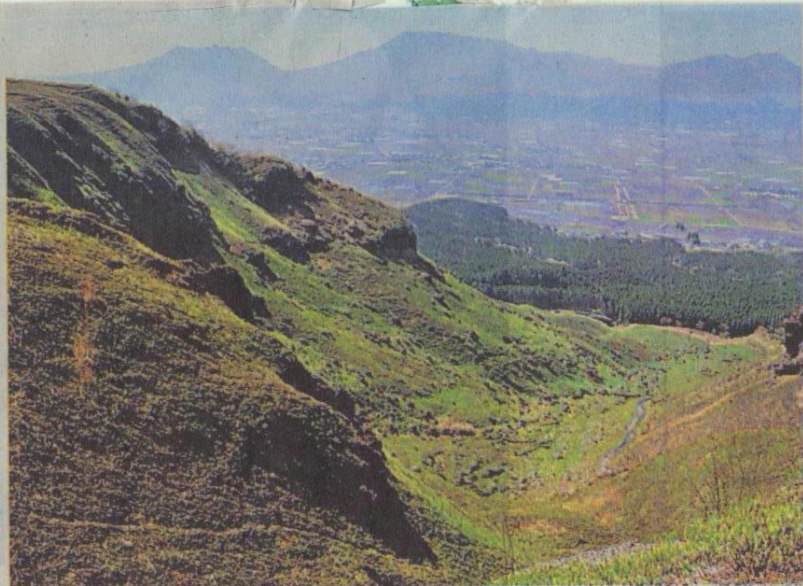
15:00 道の駅・大津に戻る



ミチノクフクジュソウ。春の日差しを受けて、日光浴を楽しんでいるような雰囲気がある

2017.4.19
西日(夕)

野の花目覚め 阿蘇に春



熊本県の阿蘇山を望む北外輪山は、野の花の季節を迎えた
=19日午前、阿蘇市

熊本県の阿蘇地方の原野に、野の花の季節が訪れた。野焼きを終えて日が浅く、墨色の残る地肌に色鮮やかな花々が咲き始めている。波打つ斜面を黄色に覆うのはキスマシレだ。地面との色彩の対比で、宝石をちりばめたよう。その脇に、ミチノクフクジュソウが咲いている。地味な風情のオキナグサや、青く輝くハルリンドウの姿もある。阿蘇の大地が季節の衣をスパッと脱ぎ捨てた感じ。熊本地震の発生から1年が経過した。
(島村史孝)



①キスマシレ。原野を美しく染め上げていく
②ハルリンドウ。花の大きさは指の爪ほどだが、目の覚めるような明るいブルーで存在感を見せる

反省会は雑魚屋 熊本東急REI店





20:23